

いま、法学を知りたい君へ ——世界をひろげる13講

東京大学法学部「現代と法」委員会 編

担当編集から 本書は、東京大学にて1・2年生向けに法学の導入科目として開講されている人気講義「現代と法（2022年度）」を書籍化した一冊です。

私たちが生きる現代社会は、「ロシアによるウクライナ侵略」のような国際的な問題から「自動運転車による交通事故と責任」のような身近な問題まで様々な問題を抱えています。本書では、これらの問題は、どんな法と関係しているのか？法的な課題は何なのか？これからどうしていくべきか？を分かりやすく解説しています。

「法学」という新たな視点を手に入れ、世界をひろげることができる書籍となっておりますので、既に法学を学んでいる人にも、興味を持ち始めた人にも楽しんで読んでいただくことができると思います。

さらに色々なテーマと法学の関係を学びたい方には、2021年度の講義を書籍化した本書の姉妹書・東京大学法学部「現代と法」委員会編「まだ、法学を知らない君へ——未来をひらく13講」(有斐閣, 2022年)もおすすめです！(N)

Point 注目の論点をオムニバス形式で分かりやすく解説しています。

第1講 ロシアのウクライナ侵略と国際法
(中谷和弘)

第2講 法を通じて世界を見る(巽智彦)

第3講 国会のオンライン審議は可能か
(穴戸常寿)

第4講 18歳,19歳の者は大人か？
子どもか？(成瀬剛)

第5講 多様化する働き方と社会法
(笠木映里)

第6講 母子関係の比較法——外国法の参照
は無意味か？(齋藤哲志)

第7講 会社はSDGsのために
存在するのか？(松井智予)

第8講 なぜデッド・コピー(酷似的模倣)を
禁止しなければいけないのか？
(田村善之)

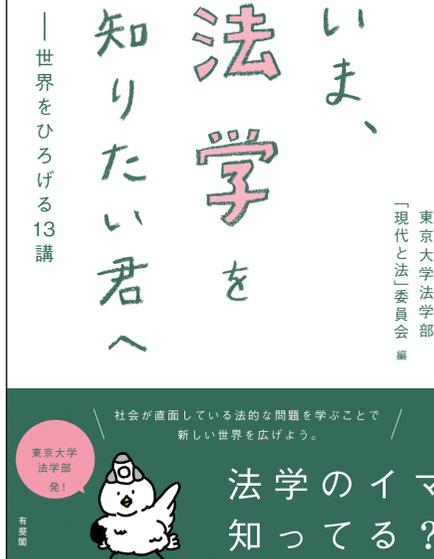
第9講 自動運転と法・その1
——総論(藤田友敬)

第10講 自動運転と法・その2——自動運転車
による交通事故と民事責任・刑事責任
(後藤元)

第11講 大きいことは悪なのか？ 競争法
は巨大企業にどう対処するか
(Simon VANDE WALLE)

第12講 租税競争をくいとめる(増井良啓)

第13講 競争法の国際的適用(白石忠志)



レベル - 用途 - 対象
初級 教養 学部 LS 一般

2024年9月発売 / 232頁 / 定価1980円(税込)
四六判 / 並製



詳細は、小社ウェブサイトの本書のページをご覧ください。

